

コンクリート工事施工 (計画・結果) 報告書

〇〇年〇〇月〇〇日

建築主事 様

報告者	工事監理者	住所 〇〇市〇〇町〇-〇		氏名	大東 一郎		
		会社名	株式会社〇〇設計		電話	06-6234-1234	
		(1) 級建築士 (大臣) 登録 第 12345 号					
工事施工者	工事施工者	住所 〇〇市〇〇町〇-〇		代表者	大西 次郎		
		会社名	株式会社〇〇建設		電話	06-6234-1221	
		建設業の許可 (大臣) 第 12212 号					
確認	確認年月日	〇〇年〇〇月〇〇日		確認番号	第 〇〇〇〇〇〇 号		
計画変更確認	確認年月日	年 月 日		確認番号	号		
建築工事名称	〇〇事務所ビル 新築工事						
建築場所	〇〇市〇〇町〇-〇						
建築主	大阪 太郎		住所	〇〇市〇〇区〇-〇			
設計者	会社名	〇〇設計株式会社		住所	〇〇市〇〇町〇-〇		
	氏名	大南 三郎		電話	電話 06-6212-3333		
		(1) 級建築士 (大臣) 登録 第 223311 号		資格			
建築物の概要	敷地面積	1200.00 m <sup>2</sup>		建築面積	456.78 m <sup>2</sup>	延べ面積	2345.67 m <sup>2</sup>
	階数	地上 6 階 地下 階		主要用途	事務所	構造	RC 造
工事監理実務者	大東 二郎		会社名	〇〇設計室			
	研修登録番号 (第 2345 号)		所属	大阪設計室 電話 06-6234-1111			
工事施工管理実務者	大西 四郎		会社名	株式会社〇〇建設			
	研修登録番号 (第 1234 号)		所属	電話 06-1234-3456			
下請会社	下請工事者	大北 一郎		会社名	〇〇建設工業株式会社		
					電話 03-1234-1234		
	下請工事施工実務者	大北 二郎		会社名	〇〇建設工業株式会社		
		研修登録番号 (第 1133 号)			電話 03-1234-1234		
圧送従事者	大東 三郎		会社名及び住所	〇〇圧送技術会社 〇〇市〇〇区〇-〇			
	研修・検定機関 (第〇〇機関)			電話 06-1222-3366			
	研修登録番号 (第 1111 号)						

※添付資料：ア.コンクリート打込 (計画・結果) 表  
イ.コンクリート配合報告書  
ウ.骨材試験報告書

コンクリート打込 ( **計画** ・ **結果** ) 表

記入例

上段(計画) 下段(結果)	計画調査 番号	打込箇所 (部位別)	打込 時期	コンクリート の種類	セメントの 種類(記号)	設計基準 強度(N/mm <sup>2</sup> )	呼び強度	混和材料 (商品名)	スランブ(cm)		単位水量 (kg/m <sup>3</sup> )	打込容積 (m <sup>3</sup> )	試験 回数(回)	空気量(%)		温度(℃)		塩化物量 測定結果 (kg/m <sup>3</sup> )	使用 塩化物量 測定器	<sup>6)</sup> 圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )			養生方法 (A・B・D)	
									最大	最小				最大	最小	7日	28日							
計画	NO. 1, 5, 9	杭	H15, 1, 20 ~2, 28	普通	N	21	21	AE 減水剤(○○NO.○○) 高性能 AE 減水剤(○○○○)	15		179	240	15											
結果	NO.																							(□A・□B・□D)
計画	NO. 2, 6, 10	基礎	H15, 3, 20	普通	N	24	27	AE 減水剤(○○NO.○○) 高性能 AE 減水剤(○○○○)	15		181	160	2											
結果	NO.																							(□A・□B・□D)
計画	NO. 3, 7, 11	1階床	H15, 4, 10	普通	N	21	24	AE 減水剤(○○NO.○○) 高性能 AE 減水剤(○○○○)	18		185	60	1											
結果	NO.																							(□A・□B・□D)
計画	NO. 3, 7, 11	1階	H15, 4, 30	普通	N	24	24	AE 減水剤(○○NO.○○) 高性能 AE 減水剤(○○○○)	18		185	200	2											
結果	NO.																							(□A・□B・□D)
計画	NO. 3, 7, 11	2階	H15, 5, 20	普通	N	24	24	AE 減水剤(○○NO.○○) 高性能 AE 減水剤(○○○○)	18		185	200	2											
結果	NO.																							(□A・□B・□D)
計画	NO. 3, 7, 11	3階	H15, 6, 10	普通	N	24	24	AE 減水剤(○○NO.○○) 高性能 AE 減水剤(○○○○)	18		185	200	2											
結果	NO.																							(□A・□B・□D)
計画	NO. 3, 7, 11	4階	H15, 7, 20	普通	N	24	24	AE 減水剤(○○NO.○○) 高性能 AE 減水剤(○○○○)	18		185	200	2											
結果	NO.																							(□A・□B・□D)
計画	NO. 3, 7, 11	5階	H15, 8, 10	普通	N	24	24	AE 減水剤(○○NO.○○) 高性能 AE 減水剤(○○○○)	18		185	140	1											
結果	NO.																							(□A・□B・□D)
計画	NO. 3, 7, 11	6階	H15, 9, 20	普通	N	24	24	AE 減水剤(○○NO.○○) 高性能 AE 減水剤(○○○○)	18		185	140	1											
結果	NO.																							(□A・□B・□D)
計画	NO. 3, 7, 11	R階	H15, 10, 10	普通	N	24	24	AE 減水剤(○○NO.○○) 高性能 AE 減水剤(○○○○)	18		185	80	1											
結果	NO.																							(□A・□B・□D)
計画	NO. 4,8,12	PH階	H15, 10, 30	普通	N	24	27	AE 減水剤(○○NO.○○) 高性能 AE 減水剤(○○○○)	18		185	20	1											
結果	NO.																							(□A・□B・□D)
コンクリート容積計		普通( 1, 667 m <sup>3</sup> ) ・ 軽量( 0 m <sup>3</sup> )						合計( 1, 667 m <sup>3</sup> )																

【コンクリート製造会社・工場名】

<sup>9)</sup>【コンクリートの劣化対策】

<sup>11)</sup>【考察】

計画調査 NO. 1~4	○塩化物量の予測 (○)0.30kg/m <sup>3</sup> 以下、( )0.30kg/m <sup>3</sup> を超え0.60kg/m <sup>3</sup> 以下、( )0.60kg/m <sup>3</sup> を超える	○圧縮強度試験結果について	○塩化物量測定結果について
○○生コン(株)○○工場			
計画調査 NO. 5~10	○塩害の要因(■有・□無) (○)海砂、( )混和剤、( )練り混ぜ水、( )その他( )	○アルカリ骨材反応対策について	○その他(骨材の品質、不具合の処置等)
○○コンクリート工業株式会社			
計画調査 NO. 9~12	○塩害対策(□有・■無) ( )調合(w/c %、スランブ cm)、( )防せい剤( ) ( )床下端の鉄筋かぶり厚さ ( cm)、( )その他( )		
○○コンクリート株式会社○○工場			
計画調査 NO.	○アルカリ骨材反応対策(■有・□無) (○)無害骨材の使用、( )低アルカリ形セメントの使用( ) ( )アルカリ総量( kg/m <sup>3</sup> 以下)、( )混合セメントの使用		
計画調査 NO.			

- 1) コンクリート工事施工計画報告書はコンクリート工事着手前までに、コンクリート工事施工結果報告書は中間検査申請時又は、完了検査申請時に必ず提出すること。
- 2) 記載内容に変更が生じた場合は、コンクリート工事施工結果報告書により報告すること。
- 3) コンクリート工事施工計画報告書の提出時に、計画調査番号を明記したコンクリート配合報告書を提示すること。
- 4) 工事開始前並びに工事期間中(1回/月)、「登録試験所」で行った骨材試験報告書(絶乾密度及び吸水率の測定、粒度の測定)を各提出時に提示すること。
- 5) 工事期間中に行った塩化物量測定は、(財)国土開発技術研究センターの技術評価を受けた塩化物測定器具により測定し、この欄には最大値を記入すること。
- 6) 工事期間中に「登録試験所」で行った圧縮強度試験(S56 建告第1102号)の試験報告書の原本を各検査時に提示し、この欄には最小値を記入すること。

- 7) 各種試験は「登録試験所」で実施すること。
- 8) コンクリート工事施工計画報告時は計画欄(上段)に、コンクリート工事施工結果報告時は結果欄(下段)に記入すること。
- 9) コンクリートの劣化対策はコンクリート工事施工計画報告時に、考察はコンクリート工事施工結果報告時にそれぞれ記入すること。
- 10) 計画欄、結果欄   内は、未記入とする。

- 11) 養生方法A: 標準養生  
養生方法B: 現場封かん養生  
養生方法D: 現場水中養生